

男女共同参画計画に関する
データ集

大網白里市

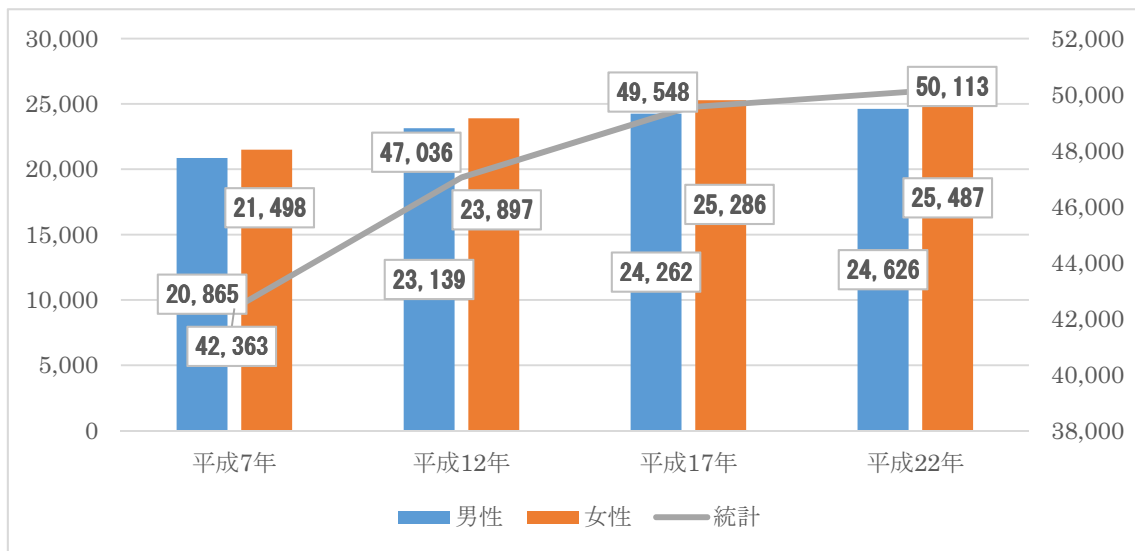
I 人口

1 大網白里市における人口の推移

5団地の開発や交通網の整備により、市の人口は増加し、平成22年に5万人を突破し、市制施行した。

図表1 人口の推移

(単位：人)



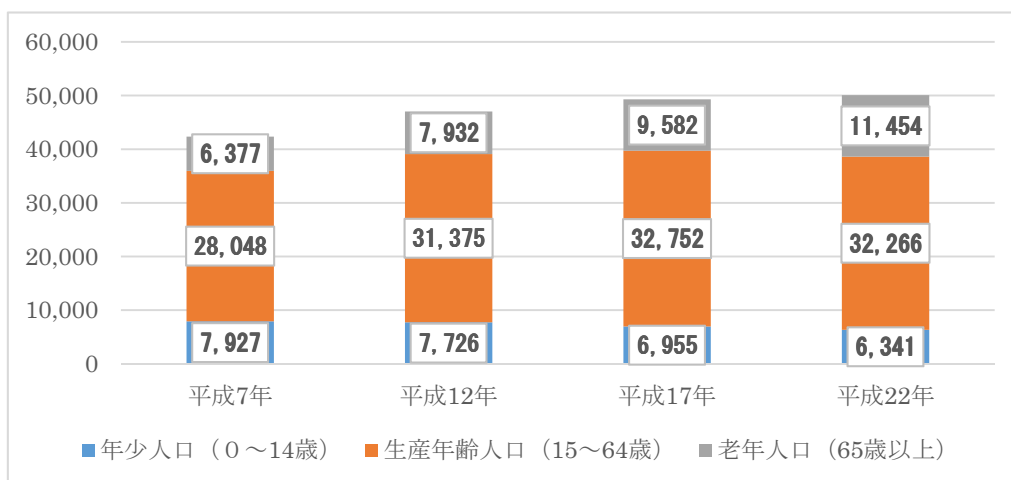
資料出所：総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

2 人口の構成

年少人口(0歳~14歳)は減少傾向にあり、老年人口(65歳~)は増加している。高齢化率は、県全体と比べ、高くなっている。

図表2 年齢3区分別人口の推移

(単位：人)

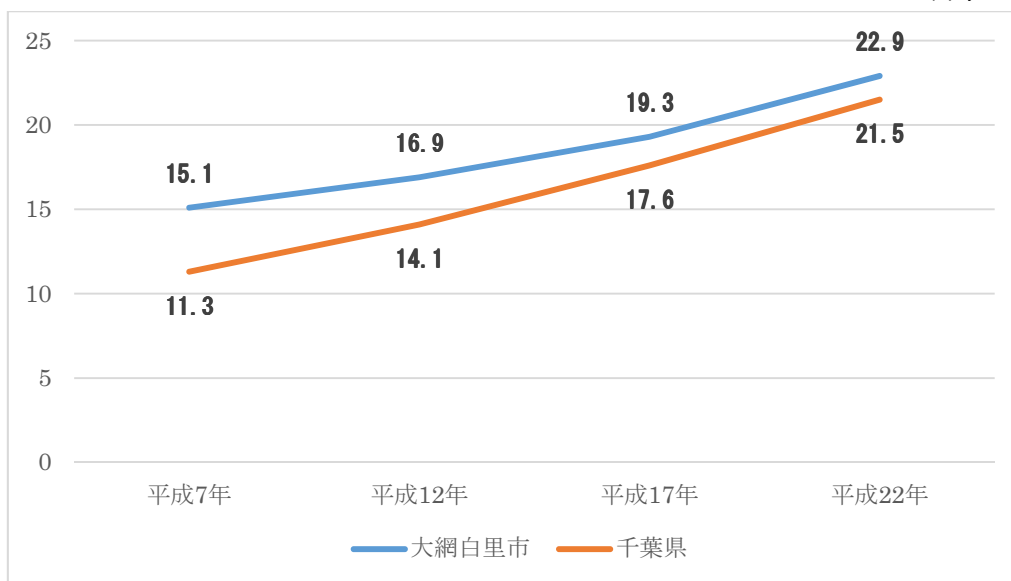


資料出所：総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

※不詳を含まない

図表3 高齢化率の推移（大網白里市・千葉県）

（単位：％）

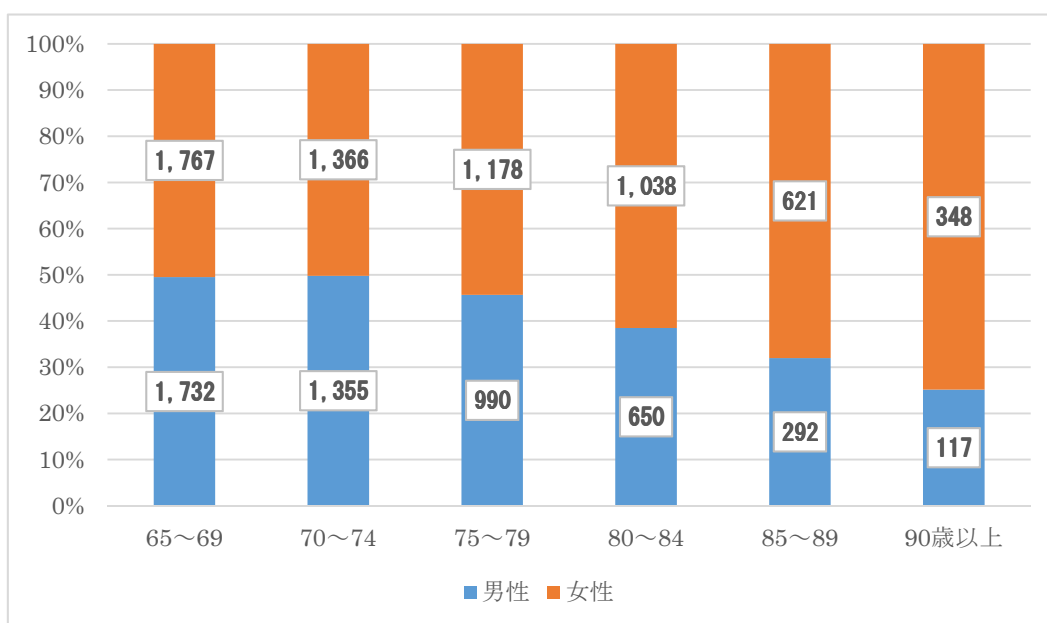


※年齢不詳を除く。総人口に占め65歳以上人口の割合

資料出所：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

図表4 65歳以上の年齢階級別男女の割合

（単位：人）



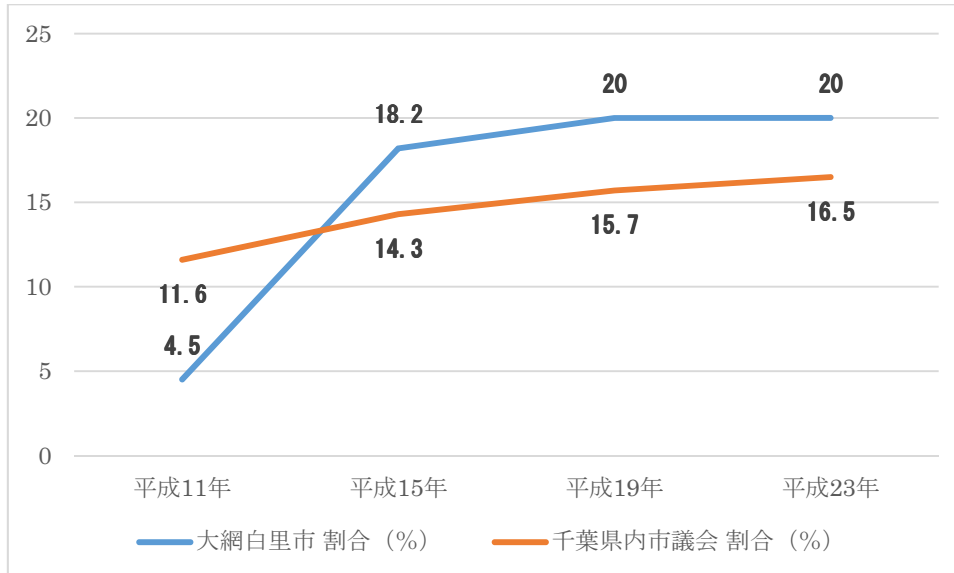
資料出所：総務省「国勢調査」（平成22年10月1日現在）

Ⅱ 政策・方針決定過程における女性の参画

1 議会に占める女性の割合

女性議員の割合は、平成15年から千葉県議会を上回っている。

図表5 市議会における女性議員割合の推移

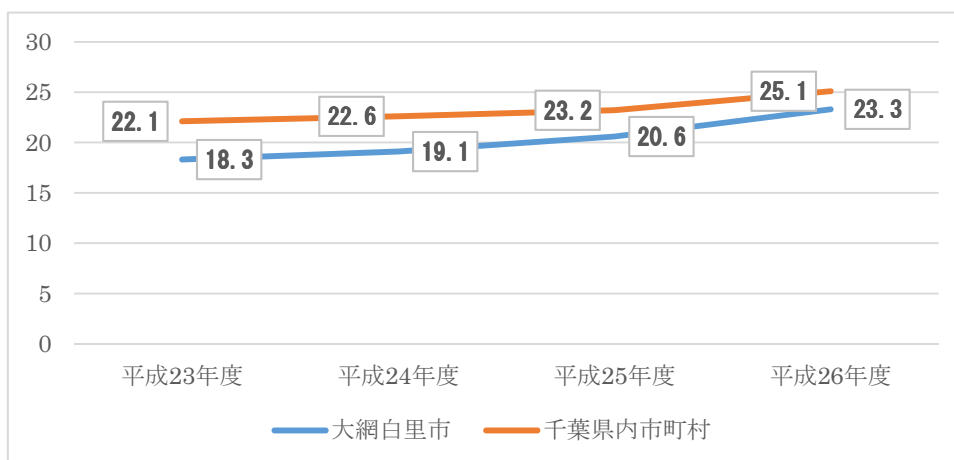


資料出所：千葉県市町村課、大網白里市議会事務局（各年12月末日）

2 審議会等に占める女性の割合

大網白里市では、政策・方針決定の場へ女性の参画を進めるため、市の審議会等への女性委員割合を25%として取り組んでいるが、県内平均と比べて低い状況である。

図表6 大網白里市・千葉県内市町村の審議会等における女性委員割合の推移
(単位：%)



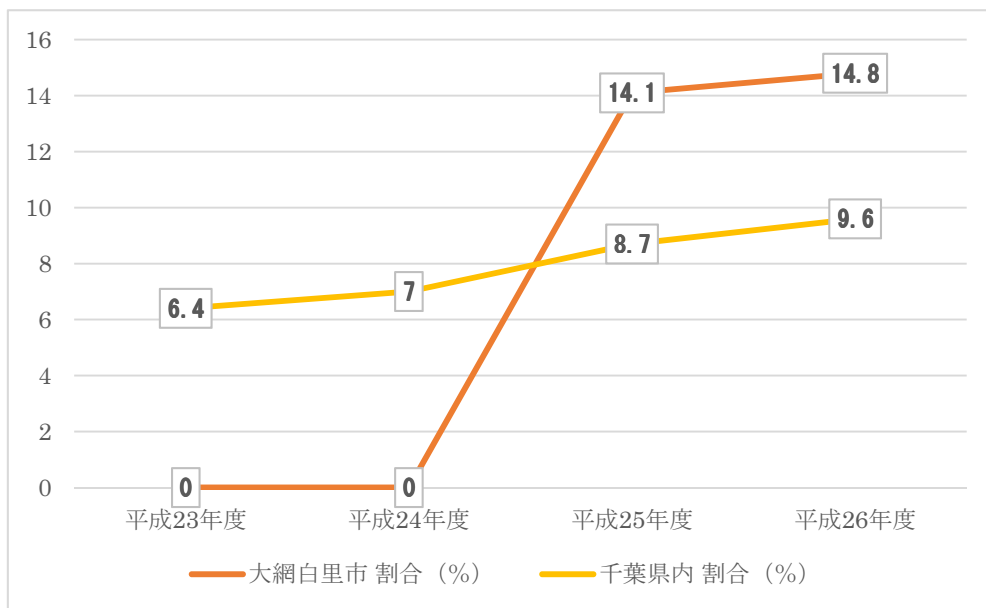
資料出所：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

3 管理職等への女性の登用

大網白里市職員における女性職員の管理職への登用率については、平成 25 年度から、県内の割合を上回っている。

平成 25 年度の公立学校の女性教員の校長・副校長・教頭といった管理職の割合は、学校の種別によりやや差があるが、低い状況である。

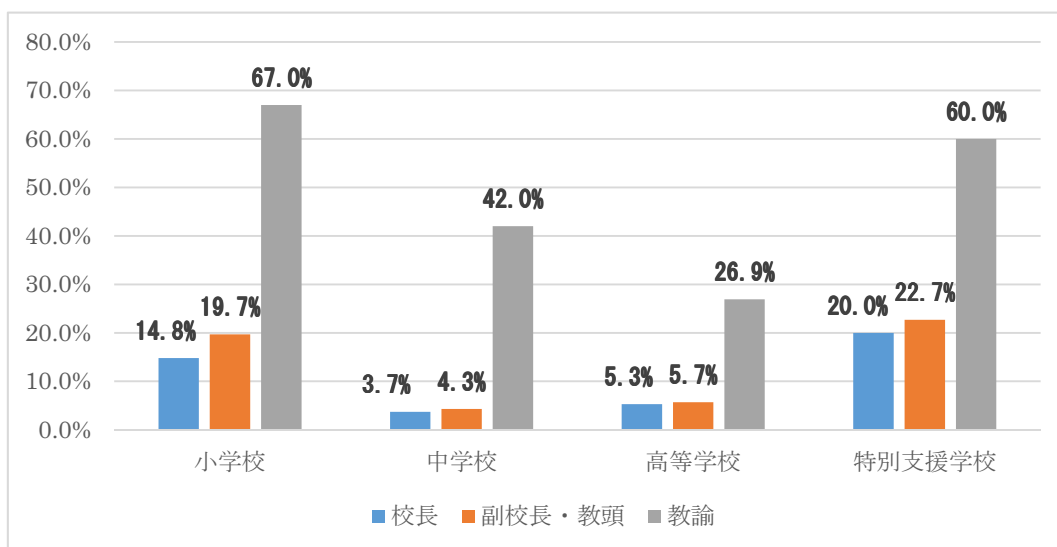
図表 7 女性職員の管理職への登用割合



※平成 23 年度・平成 24 年度については課長以上、平成 25 年度・平成 26 年度については課長及び課長相当職以上の職員を対象とする

資料出所：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

図表 8 学校職員における女性管理職の状況



資料出所：文部科学省「学校基本調査」（平成 25 年）

4 委員会等における女性委員の状況

委員会等における女性委員の割合は、委員会によって差がある。農業委員会・固定資産評価審査委員会では女性委員はいない状況である。

図表 9 地方自治法（第 180 条の 5）に基づく委員会等における女性の割合

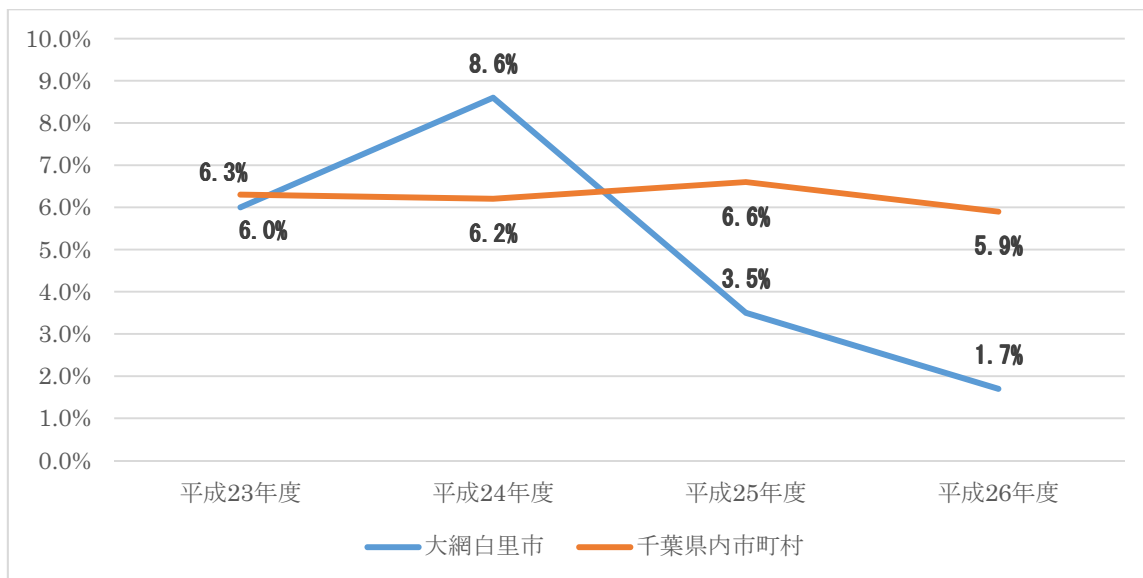
		委員総数	女性委員	割合 (%)
教育委員会	平成 23 年	6	1	16.7
	平成 24 年	6	1	16.7
	平成 25 年	6	1	16.7
	平成 26 年	5	1	20
選挙管理委員会	平成 23 年	4	1	25
	平成 24 年	4	1	25
	平成 25 年	4	1	25
	平成 26 年	4	1	25
監査委員	平成 23 年	2	0	0
	平成 24 年	2	0	0
	平成 25 年	2	0	0
	平成 26 年	2	1	50
農業委員会	平成 23 年	22	0	0
	平成 24 年	23	0	0
	平成 25 年	23	0	0
	平成 26 年	23	0	0
固定資産評価審査委員会	平成 23 年	3	0	0
	平成 24 年	3	0	0
	平成 25 年	3	0	0
	平成 26 年	3	0	0

資料出所：大網白里市教育委員会管理課、選挙管理委員会、監査委員事務局、農業委員会、総務課

5 自治会における女性会長の状況

自治会における女性会長は、平成24年度に県内平均を上回ったが、平成25年度から下回っている。県内平均も6%前後にとどまっており、低い状況といえる。

図表10 自治会長に占める女性の割合（大網白里市・千葉県）



資料出所：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

Ⅲ 労働

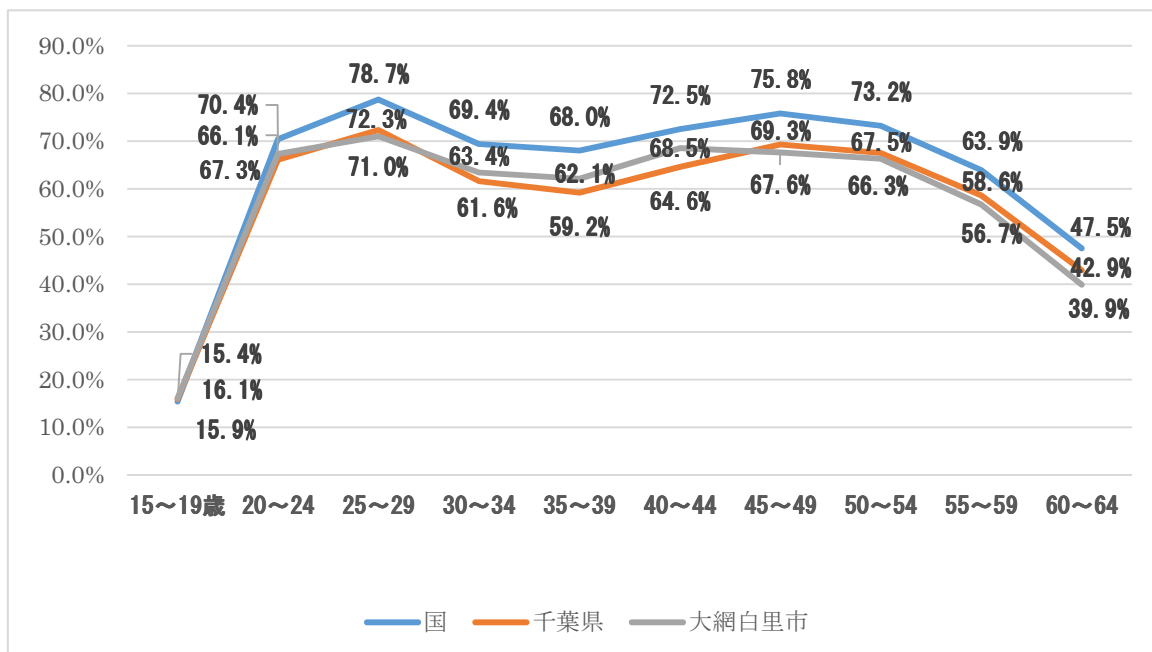
1 労働力率

●男女別労働力率

女性は30代で有業率が下がり、いわゆる「M字カーブ※」を描いている。本市の女性の就業率は、千葉県の就業率とほぼ同じカーブを描いている。国の就業率と比較すると全体的にやや低く、25～29歳で8ポイント近く低くなっているが、30～39歳では大きく落ち込まず、緩やかなM字カーブとなっている。

※M字カーブ：日本の女性労働力人口比率を年齢階級別にグラフ化したとき、20歳代後半と40歳代後半が山になり、アルファベットのMのような形になる。

図表 1 1 女性の年齢階級別就業率の推移（平成 22 年）



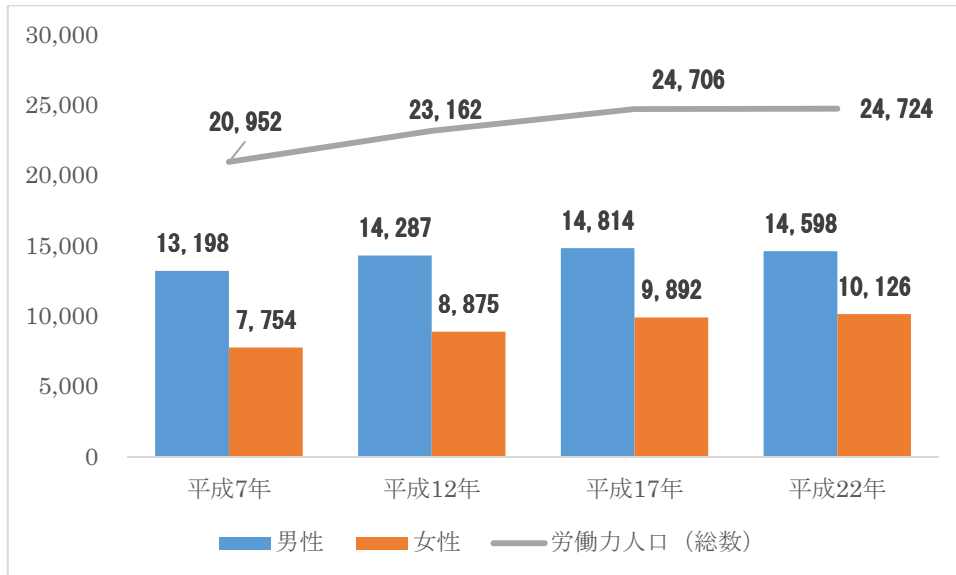
資料出所：国勢調査

●労働力人口の推移

本市の労働力人口は、平成7年以降増加している。男女別の推移をみると、男性は平成17年から平成22年では減少しており、女性は一貫して増加している。

●労働力人口の推移

(単位：人)



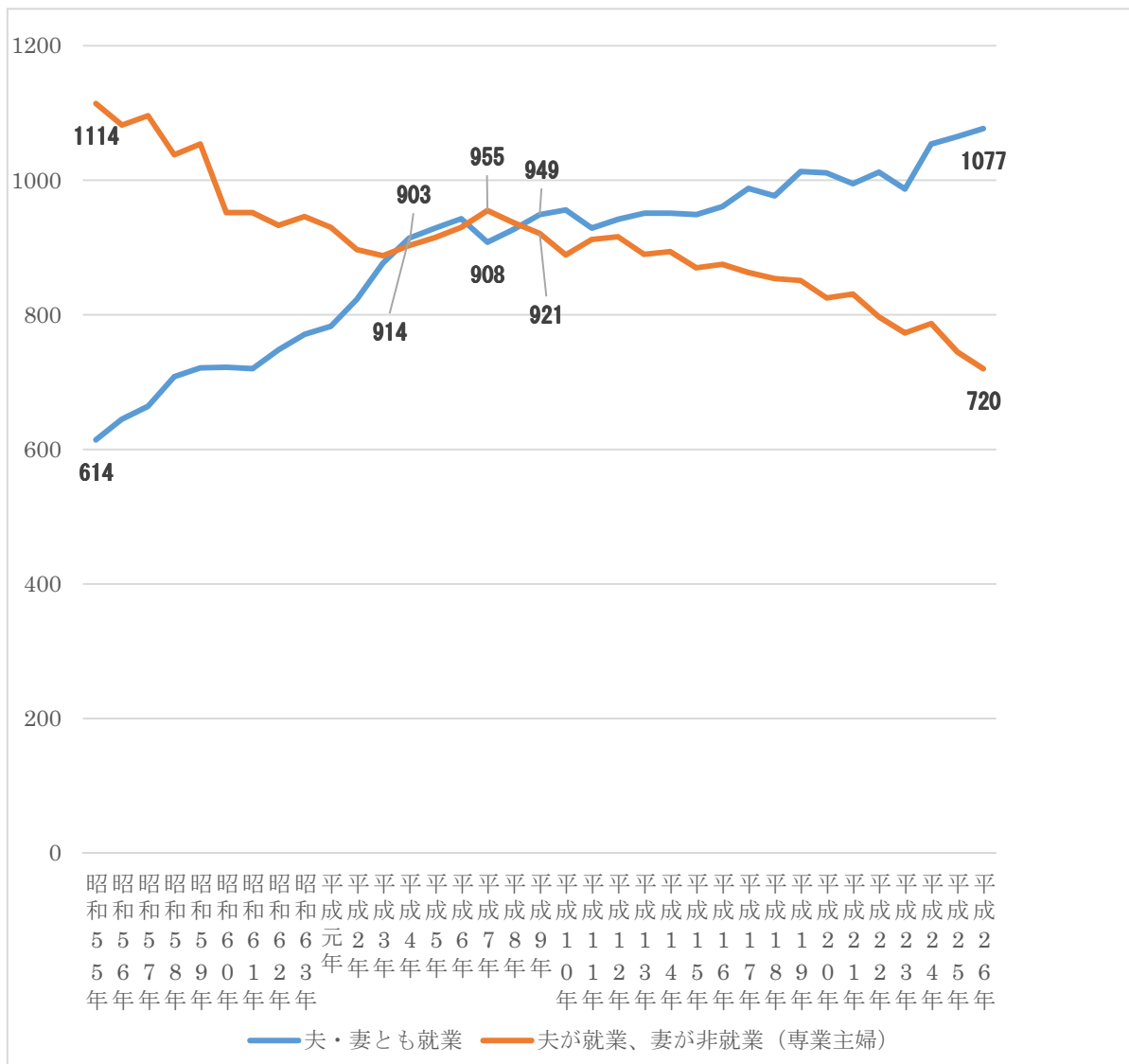
資料出所：国勢調査報告

●共働き世帯

平成9年以降、共働き世帯数は夫のみ就業（専業主婦）世帯を上回り、その後も徐々に増加している。夫のみ就業（専業主婦）世帯は徐々に減少している。

図表12 共働き世帯数の推移（全国）

（単位：万世帯）



資料出所：総務省「労働力調査」

2 労働条件

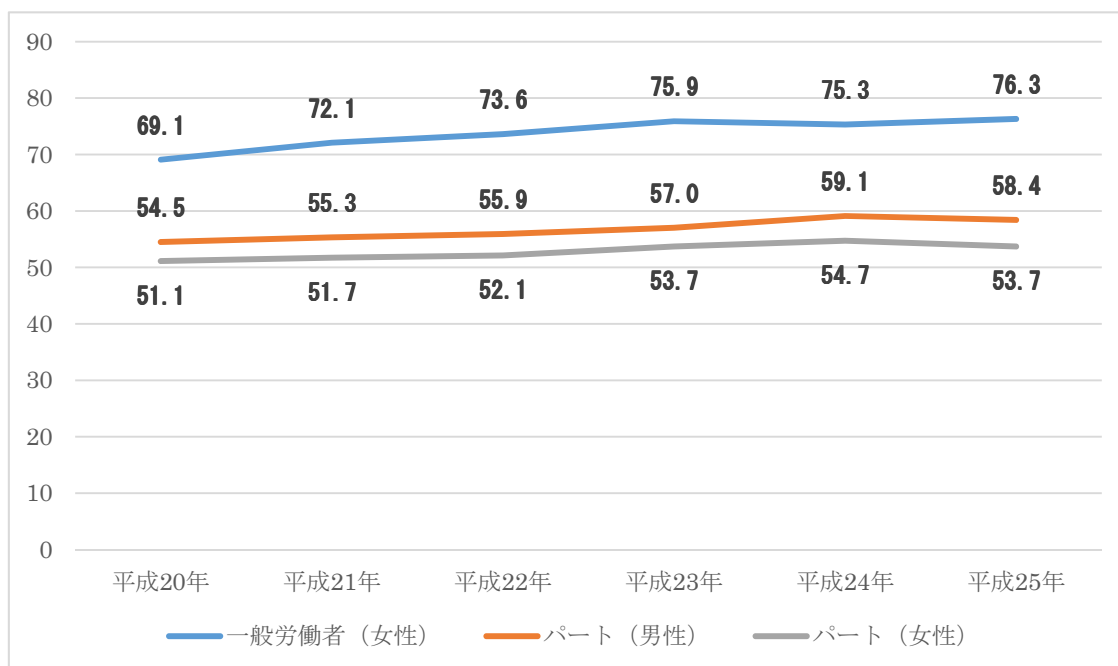
●賃金

パートタイム（短時間）労働者を除く女性一般労働者の所定内給与額は、年々増加する傾向にあるものの、男性の7割にとどまり、依然として低い。

また、パートタイム（短時間）労働者間においても、男性と比べて、女性の方が低くなっている。

図表 1 3 男女労働者の1時間あたり平均所定内給与額格差（千葉県）

（単位：％）



※給与の指数は、男性一般労働者の1時間あたり平均所定額を100として、各区分の1時間あたりの平均所定内給与額の水準を算出したもの。

資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（平成25年）

●育児休業制度の状況

事業所において育児休業を取得する従業員は、近年、女性は90%を超える取得率だが、男性はまだ少ない状況である。

大網白里市職員においては、取得実績はない。

図表14 事業所において、本人または配偶者が出産した従業員数と育児休業を取得した従業員数（千葉県）

		本人または配偶者が 出産した従業員数	そのうち育児休業を 取得した従業員数	育児休業取得 率
女性	平成18年3月	673人	560人	83.20%
	平成20年3月	624人	621人	99.50%
	平成22年3月	677人	597人	88.20%
	平成24年3月	1,239人	1,164人	93.90%
	平成26年1月	1,623人	1,493人	92.00%
男性	平成18年3月	1,348人	12人	0.90%
	平成20年3月	1,021人	17人	1.70%
	平成22年3月	1,155人	25人	2.20%
	平成24年3月	2,240人	85人	3.80%
	平成26年1月	2,555人	98人	3.80%

資料出所：千葉県雇用労働課「出産・子育て期における男女労働実態調査」（平成18年3月）
 千葉県雇用労働課「出産・子育て期における男女労働実態フォロー調査（中間）」
 （平成20年3月）
 千葉県雇用労働課「出産・子育て期における男女労働実態フォロー調査（最終）」
 （平成22年3月）
 千葉県雇用労働課「ワーク・ライフ・バランス取組状況調査」（平成24年3月）
 千葉県雇用労働課「ワーク・ライフ・バランス取組状況調査」（平成26年1月）

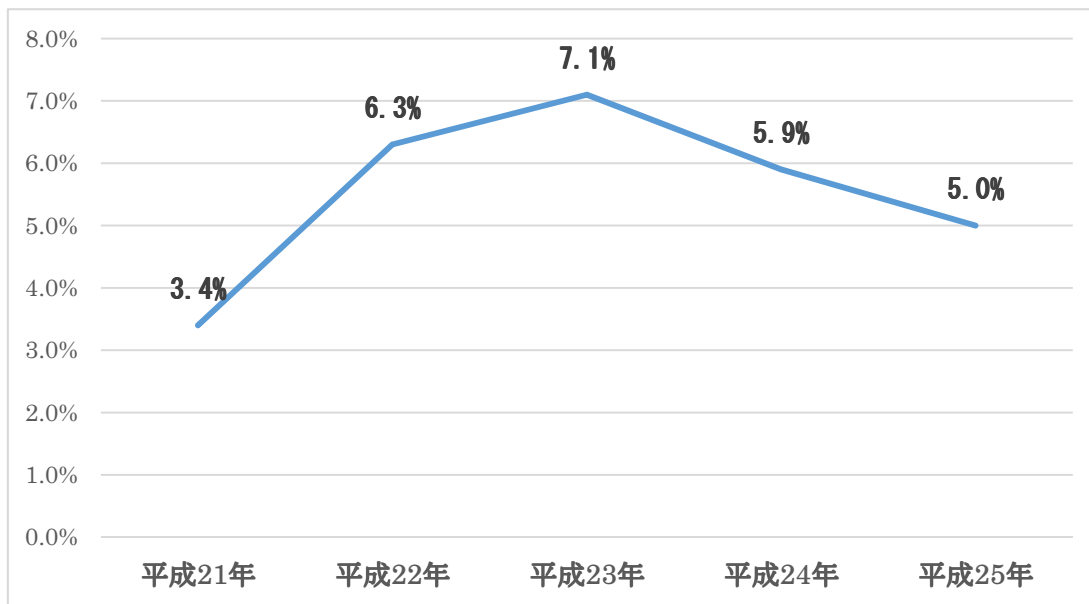
図表15 男女育児休業取得率（全国）

	本人または配偶者が 出産した従業員の育 児休業取得率	平成21年	平成22年	平成23年 ※	平成24年	平成25年
女性	出産した者に占める 割合	85.6%	83.7%	【87.8%】	83.6%	83.0%
男性	配偶者が出産した者 に占める割合	1.72%	1.38%	【2.63%】	1.89%	2.0%

※平成23年度の【】内比率は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

資料出所：厚生労働省「平成25年度雇用均等基本調査」

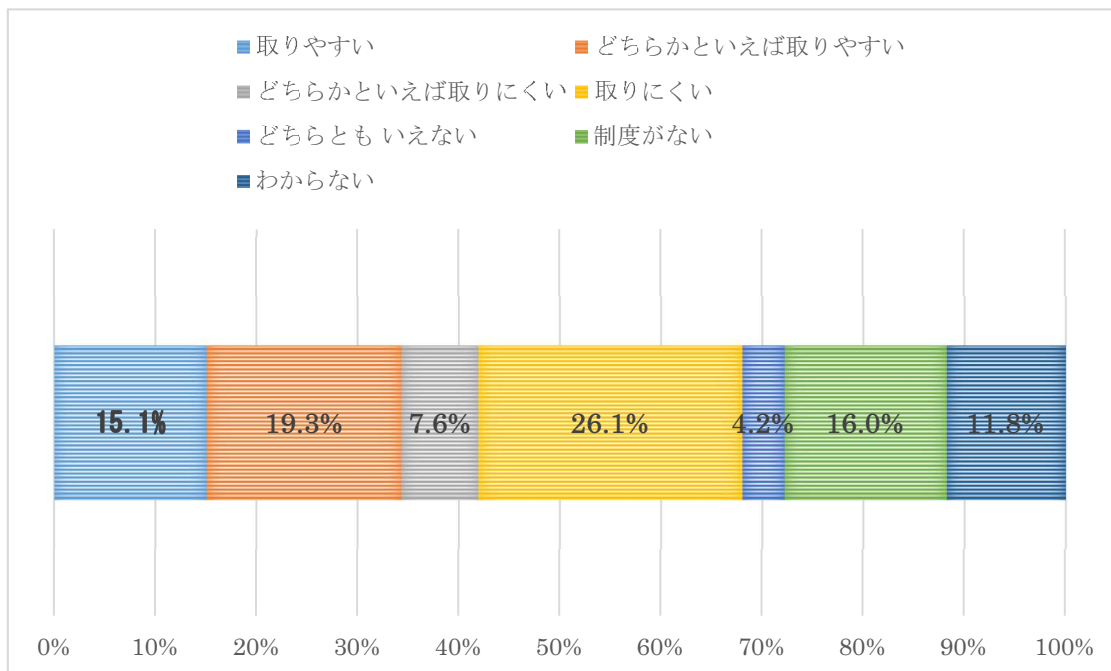
図表 1 6 県職員における男性の育児休業取得率（千葉県）



資料出所：千葉県総務課

※大網白里市では男性の取得実績なし

図表 1 7 男性の職場における育児休暇のとりやすさ（大網白里市）



資料出所：大網白里市男女共同参画に関する市民意識調査

3 自営業者、家族従事者、起業家等に対する支援

●家族経営協定締結数の推移

千葉県の家族経営協定※締結数は、年々増加している。
大網白里市では、毎年度の締結はない。

※農林漁業経営を担っている家族全員が、意欲と生きがいをもった魅力ある経営を目指して経営の目標や報酬・休日等の就業条件、経営移譲計画、生活上の諸事項について話し合い、取り決めたルールを文書で結ぶもの。

図表 1 8 家族経営協定数の推移

(単位：件)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
大網白里市	3	1	—	1	1	1
千葉県内	1048	1175	1287	1419	1516	1593

●経営者数及び女性起業数

「2010 年農林業センサス」によると、千葉県の農業経営者に占める女性の割合は 6.0% (全国 6.1%) となっている。

図表 1 9 男女別農業経営者数 (千葉県・全国)

(単位：人、%)

	総 数	女 性	男 性	女性割合
千葉県	54,462	3,293	51,169	6.0
全国	1,631,206	99,473	1,531,733	6.1

資料出所：農林水産省「2010 年農林業センサス」(平成 22 年 2 月 1 日現在)

IV 福祉

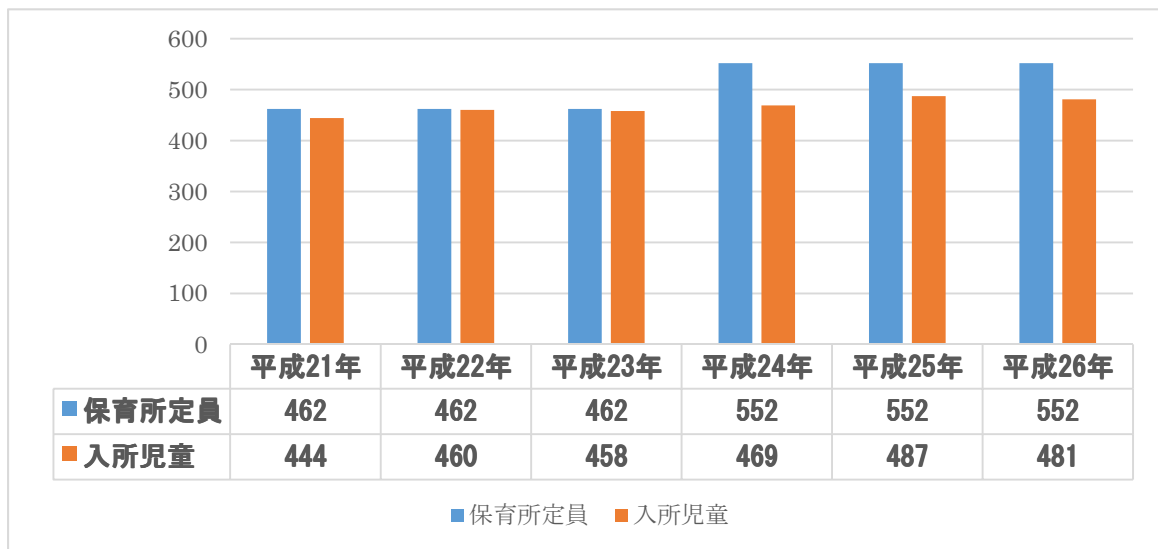
1 子育て

●保育所の定員・入所児童数の推移

入所児童は、平成21年と比べると40人ほど増えている。

図表20 保育所定員・入所児童数の推移

(単位：人)



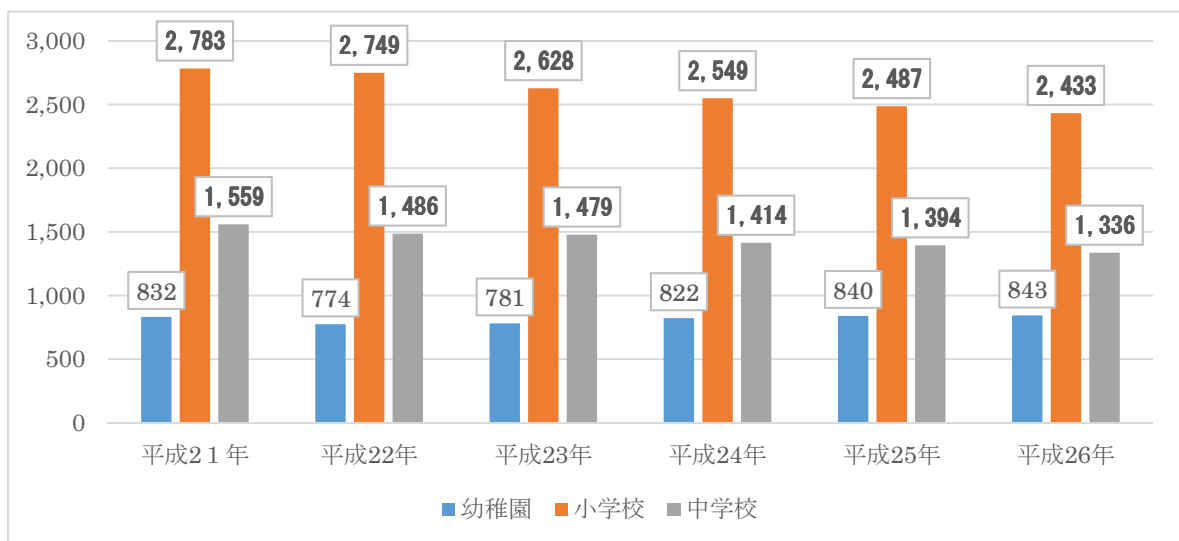
資料出所：子育て支援課

●園児・児童・生徒数の推移

幼稚園児は横ばいであるが、児童・生徒数は少しずつ減っている。

図表21 園児・児童・生徒数の推移

(単位：人)

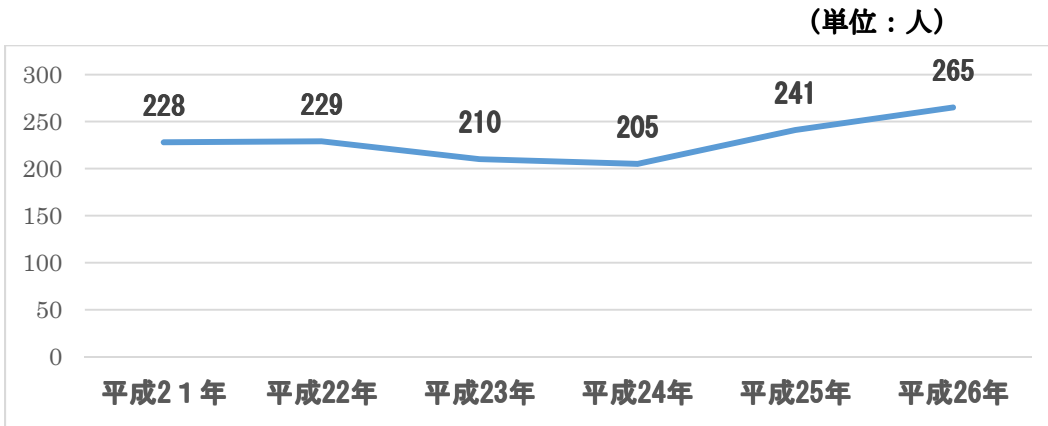


資料出所：文部科学省「学校基本調査」

●学童保育利用者数の推移

平成 24 年度から、年々利用者は増加している。

図表 2 2 学童保育利用者数の推移



資料出所：子育て支援課

●母子・父子世帯の推移

18歳未満の児童がいる一般世帯の割合を千葉県平均と比較すると、県の割合を上回っているものの、平成12年から平成17年では5.3ポイント、平成17年から平成22年では5.2ポイント、10年間では10.5ポイント減少している。また、ひとり親世帯（母子世帯・父子世帯）の割合をみると、平成17年までは千葉県平均の割合を上回っているが、平成22年では同じ割合となっており、ひとり親世帯は減少傾向にある。

図表 2 3 母子・父子世帯の推移 千葉県との比較

(単位：人、%)

区分	大網白里市			千葉県		
	平成12年	平成17年	平成22年	平成12年	平成17年	平成22年
一般世帯	14,962	16,382	18,115	2,164,117	2,304,321	2,512,441
一般世帯に占める 18歳未満の児童が いる一般世帯	5,454 (36.5%)	5,119 (31.2%)	4,704 (26.0%)	490,545 (28.6%)	595,600 (25.8%)	584,159 (23.3%)
一般世帯に占める 18歳未満の児童が いる母子世帯	146 (1.0%)	190 (1.2%)	185 (1.0%)	21,633 (1.0%)	26,009 (1.1%)	25,270 (1.0%)
一般世帯に占める 18歳未満の児童が いる父子世帯	26 (0.17%)	34 (0.21%)	25 (0.14%)	3,509 (0.16%)	3,736 (0.16%)	3,516 (0.14%)

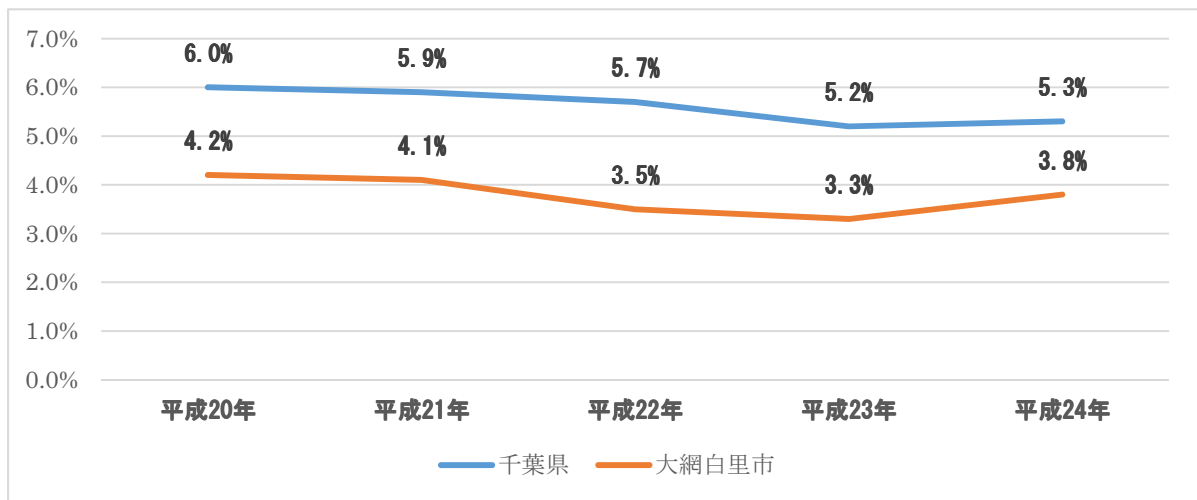
資料出所：国勢調査

●婚姻率・離婚率の推移

本市の婚姻率をみると減少傾向にあるが、平成24年が前年に比べ増加を示している。千葉県と比較してみると、一貫して県より低い婚姻率となっている。

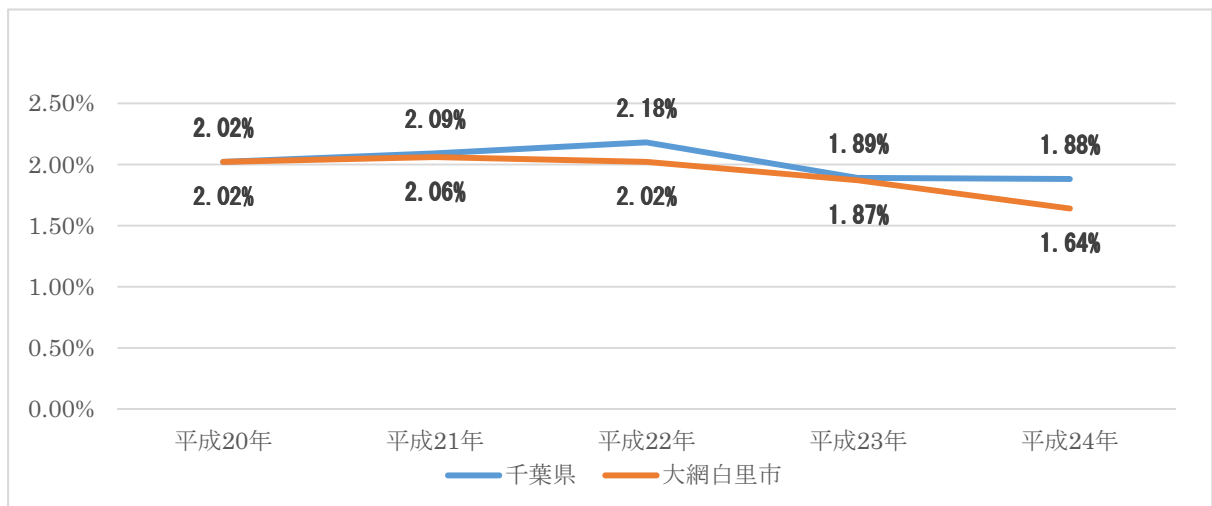
一方、離婚率をみると、千葉県とほぼ同じような数値で推移していたが、平成22年をピークにその後は大きく減少している。

図表24 婚姻率の推移



資料出所：千葉県衛生統計年報

図表25 離婚率の推移



資料出所：千葉県衛生統計年報

婚姻率

$$\frac{\text{年間婚姻届出件}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

離婚率

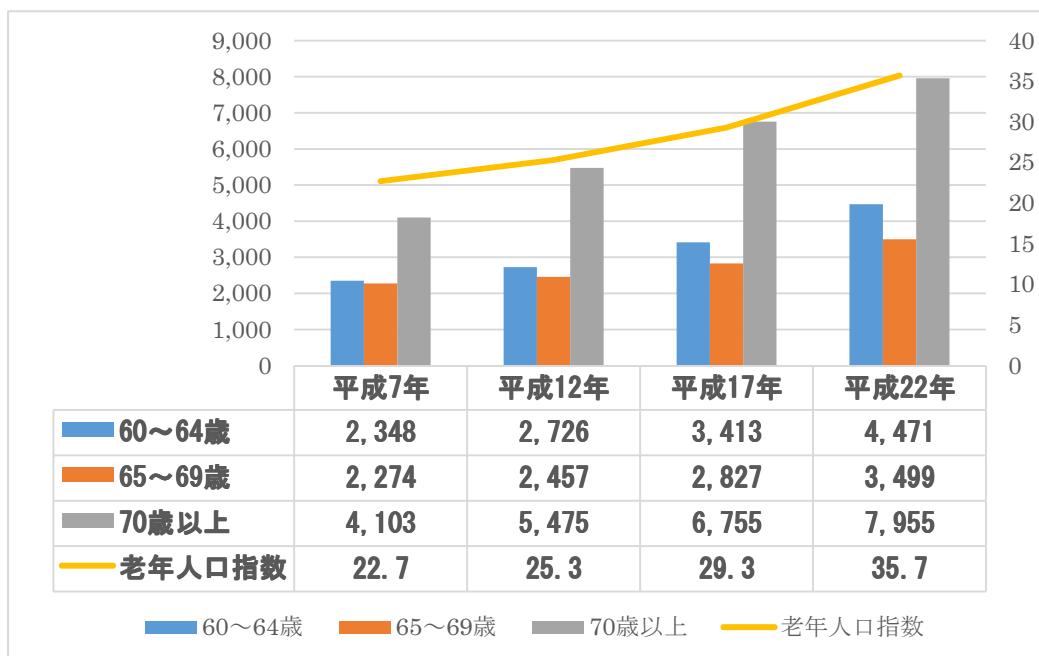
$$\frac{\text{年間婚姻届出件}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

2 高齢者

●老齢人口

老齢人口は増加しており特に70歳以上の人口の伸びが大きい。

図表26 老齢人口の推移



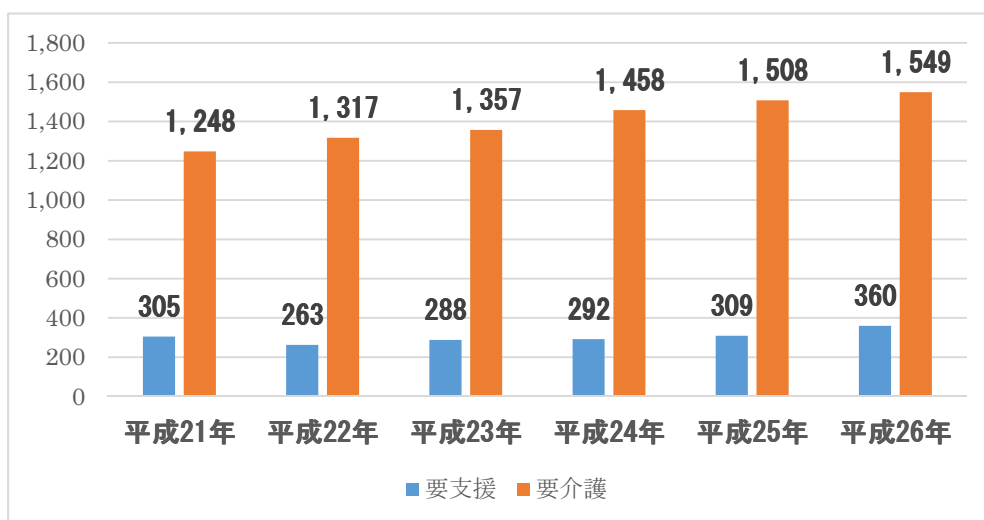
資料出所：国勢調査

●要介護・要支援認定者数

要介護・要支援認定者とも、年々増加している。

図表27 要介護・要支援認定者数

(単位：人)



資料出所：高齢者支援課

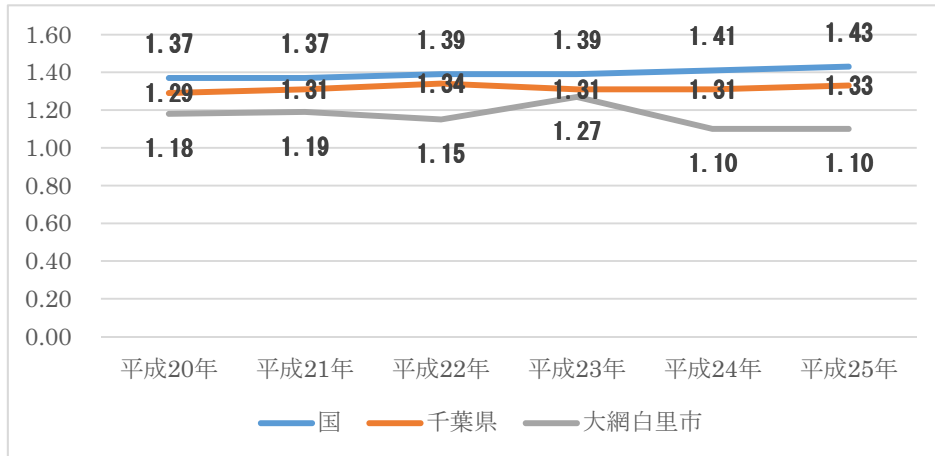
V 健康

1 出生等に関する状況

●合計特殊出生率の推移

本市の合計特殊出生率は、平成16年以降、国及び千葉県と比べ低く推移している。平成23年には千葉県の合計特殊出生率に近づくが、再び平成24年に減少し、1.10となっている。

図表28 合計特殊出生率※の推移



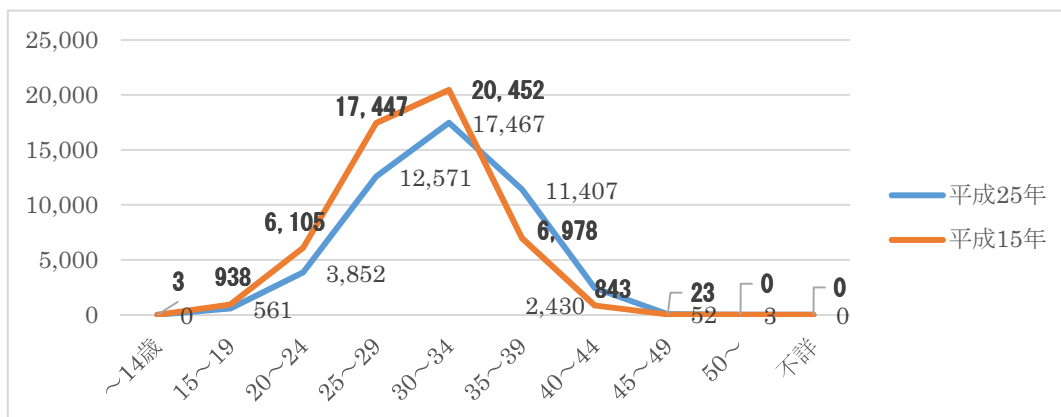
資料出所：千葉縣市町村別 合計特殊出生率

※15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子ども数に相当する。

●母の年齢階級別出生数の推移

母親の出生年齢と出生数について10年前と比較したところ、平成15年、25年とも30歳から34歳の階級が最も多くなっているが、20歳～34歳の階級で減少している一方、35歳から44歳の階級が増加しており、出生数の減少と併せて出産年齢が上がっていることがわかる。

図表29 母の年齢階級別出生数の推移（千葉県）



資料出所：厚生労働省「人口動態統計」

2 こころとからだの健康

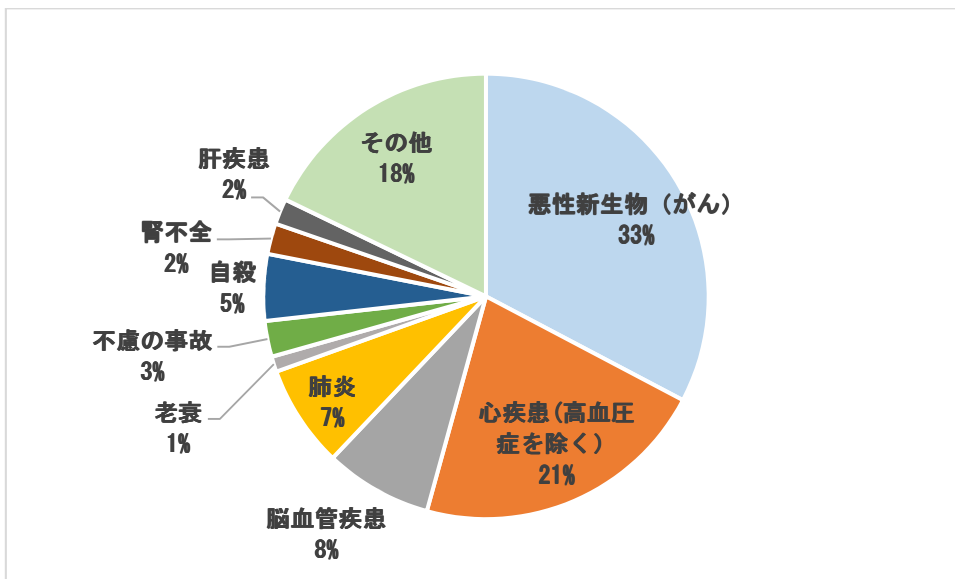
●主な死因の構成割合

平成 25 年の男女別の死因をみると、男女ともに「悪性新生物（がん）」「心疾患」による死亡が多く、この 2 つでほぼ半数を占めている。

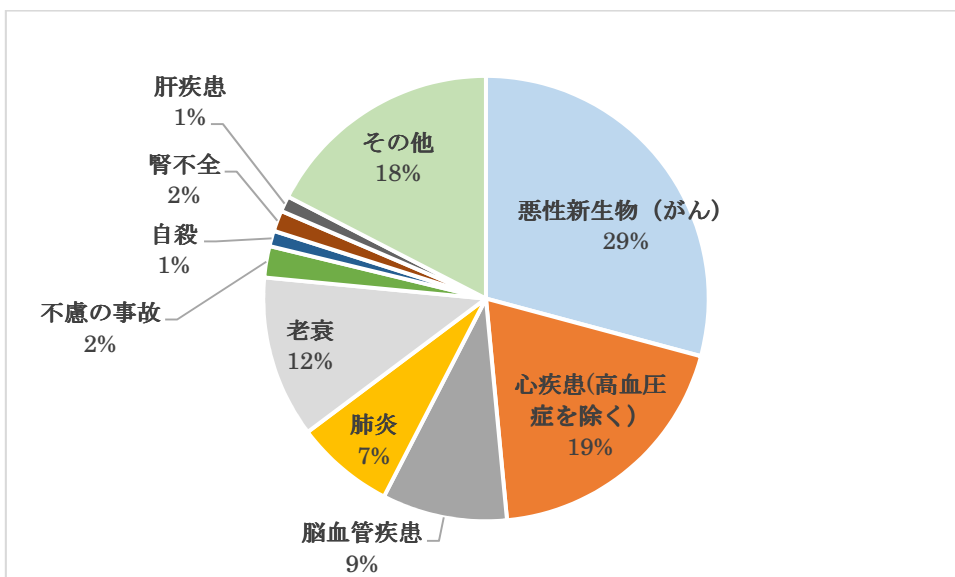
性別でみると、男性は女性に比べ、「不慮の事故」、「自殺」が多く、また、女性は「老衰」が多くなっている。

図表 30 大網白里市における主要死因の構成割合（男性・女性別）

【男性】



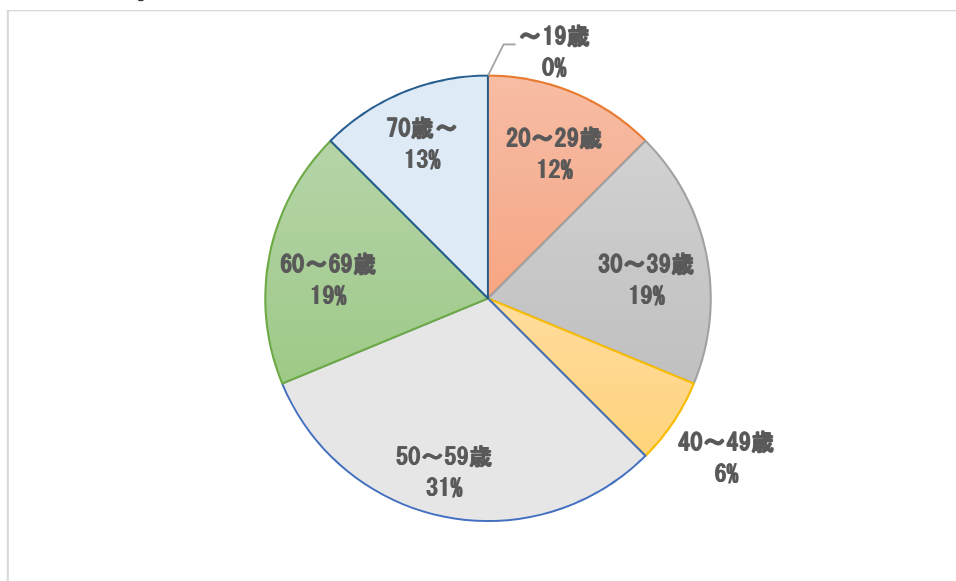
【女性】



資料出所：厚生労働省「人口動態統計」平成 25 年

●自殺者の年齢別割合（平成 25 年）

年齢別にみると、50 歳代の自殺が最も多く、次いで 30 歳代、60 歳代が多くなっている。



資料出所：厚生労働省「人口動態統計」平成 25 年

VI 人権

1 DV

●相談件数

相談件数は年々増加している。

図表 2 5 DVの相談方法・処理状況（大網白里市）

年度	総数	相談方法		処理状況		
		電話	来所	相談情報提供のみ	庁内機関処理	他機関へ引き継ぎ
24 年度	7	1	6	6		1
25 年度	17		17	16		1
26 年度	24	2	22	17	3	4

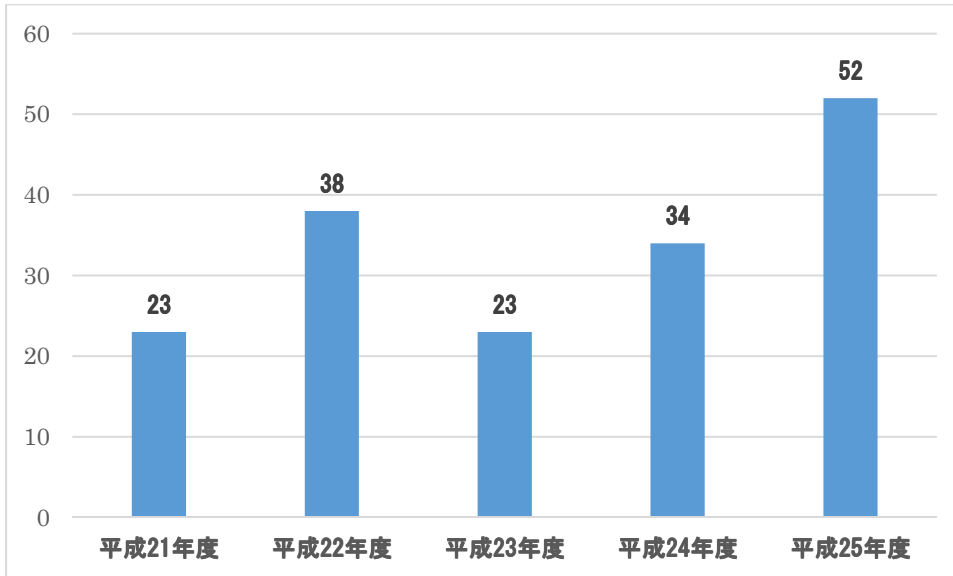
資料出所：地域づくり課

2 性犯罪（女性に対する性的暴行事案等）

●相談件数

性犯罪の相談は、犯罪被害者の心理的ダメージが大きく、他人に相談しにくいことから相談をためらうなど、潜在性が高いといわれている。

図表 2 6 千葉県警察本部相談サポートコーナーで受理した性犯罪の相談件数の推移



資料出所：千葉県警察本部

3 ストーカー

千葉県における平成 25 年のストーカー事案の認知件数は 550 件であり、前年と比べ大幅に減少している。

図表 27 ストーカー事案の認知件数及び措置状況（千葉県）

	認知件数	検挙			ストーカー規制法による行政措置（警告・援助）	ストーカー規制法によらない措置（防犯指導・警ら等）
		計	ストーカー規制法	他法令		
平成 21 年	760	48	6	42	100	399
平成 22 年	643	69	8	61	84	848
平成 23 年	456	42	1	41	43	552
平成 24 年	971	124	18	106	159	1140
平成 25 年	550	110	31	79	115	677

資料出所：千葉県警察本部

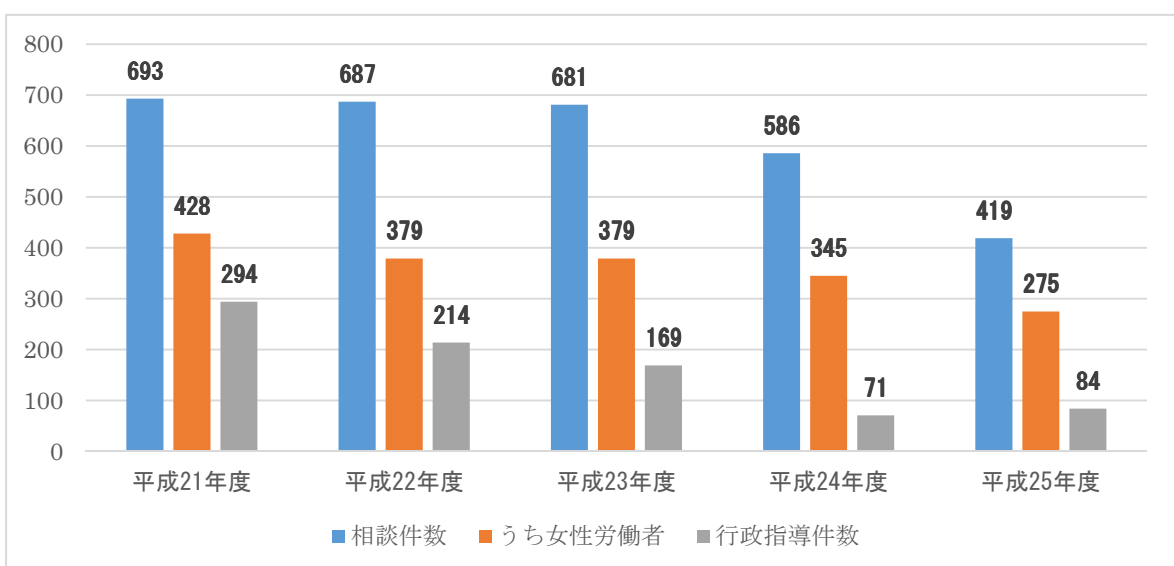
※ストーカー規制法によらない措置は、複数計上である。

4 セクシュアル・ハラスメント

●職場におけるセクシュアル・ハラスメントの相談件数

平成 19 年 4 月 1 日に改正男女雇用機会均等法が施行され、事業主に義務付けられてきた職場におけるセクシュアル・ハラスメントに関して雇用管理上必要な措置が拡充されるとともに、紛争解決の援助制度がよりできるようになった。その平成 19 年度に相談件数が急増し、その後は減少傾向にある。

図表 28 千葉労働局におけるセクシュアル・ハラスメントの相談件数の推移（千葉県・全国）



資料出所：千葉労働局雇用均等室